

事業所名		ふらっと				支援プログラム（放課後等デイサービス）				作成日	2025	年	9	月	1	日	
法人（事業所）理念		ニューロダイバーシティの概念に則り、それぞれの子供の神経多様性を認めながらも、社会生活を生き抜く力を身に付けてもらうべく、エビデンスのある認知行動療法に基づいた支援を提供する。 支援の対象はもとより、そのご家庭、学校、職場など社会全体に対しても働きかけて共生社会の実現を目指す。															
支援方針		こどもと家族のエンパワーメントを目指して、こども達がやりたいことにもすべきことにもバランスよく取り組める支援をベースに、自ら学ぶ力を身に着けるための学習支援、快適な生活を送るためのソーシャルスキルトレーニング、不登校など適応上の課題を解消するための心理支援、学習障害をサポートするための支援と環境整備、家族内のストレスや緊張を低減するための家族支援を支援方針とする。															
営業時間		平日 長期休暇	9	時	0	分	から	18	時	0	分	まで	送迎実施の有無		あり ※ 学校から施設までの送迎のみ		
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	・生活リズムの形成や基本的な生活スキルの獲得に向けて支援を行う。（検温、手洗いうがい、物の準備・片付け等の整理整頓等、時間を見て行動する） ・1日の流れにリズムと秩序をもたせ、安心感と見通しをもつ力を育めるようにする。 ・身辺自立や宿題等、個々の利用児に合わせて課題に取り組み、習慣化できるように支援する。 ・園芸や散歩を行い、季節の変化や自然のサイクルを感じられる機会を提供する。															
	運動・感覚	・座位保持のための体幹形成（バランスボール、トランポリンなど）を行う。 ・音楽に合わせて体を動かしたり、室内でできる球技などを通して、粗大運動を楽しみながら体の使い方を学べるようにする ・手先を使う工作（スライム・折り紙・シール貼り等）を通して、微細運動を育てる。															
	認知・行動	・感覚の特性に合わせた個別の支援を行う。（写真、カードやボードでの視覚支援等） ・思考力・判断力の育成と行動調整、学習能力の向上と適切な行動のための支援を行う。 ・小さな目標から始め、達成することで自信を育てる。目標を達成した際には、成果を子どもが感じられるよう、肯定的なフィードバックを行う。															
	言語 コミュニケーション	・読み書き能力の向上、言語特性への配慮。（絵本や紙芝居の読み聞かせ、ICT機器等の活用） ・1対1を通して、まずは職員と適切にコミュニケーションをとることができるように伝えていく。 ・分からないことを聞くことや、相手に自分の要求を伝える等、正しく言葉にして伝えることができるよう支援を行う。															
	人間関係 社会性	・個別活動からグループ活動へ順に進め、一人ひとりの状況や状態に合わせて集団への参加を促す。 ・集団活動全般を通じて、周囲への適切な声掛けや気持ちのコントロールの仕方を学べるよう支援を行う。 ・外出支援を通して、公共の場での振舞い方や声の大きさ、順番を守ることなどの支援を行う。															
家族支援		・子どもの発達状態や特性理解に向けた相談支援、情報提供。 ・日々の様子をラインやメールなどで共有したり、随時面談を行う。 ・家庭での困りごとや悩み事などの相談や支援方法などを一緒に考える。 →気軽に相談できる関係づくりを心がける。							移行支援		・学校や医療機関、他の通所先との情報共有 ・環境変化に向けての課題提示および実践						
地域支援・地域連携		・学校、福祉サービス施設、医療機関等と連絡を取ったり、情報共有を行ったりする。 ・地域の公園や公共施設、商業施設での社会体験を通じて地域との繋がりをもてるようにする・地域のお祭りや行事への参加							職員の質の向上		・法定研修（コンプライアンス、虐待防止、ハラスメント防止等） ・スキルアップのための研修 ・外部研修への参加 ・ケース検討会等						
主な行事等		・季節に合わせた行事・イベントの実施 ・避難訓練、感染症・熱中症対策指導 ・長期休暇には外出支援として工場見学や地域の公園や公共施設などの社会体験を実施予定。 ・園芸活動での収穫体験、収穫物を使った調理体験															